

事例8 単元「学級討論会をしよう」  
論理的に話す子をめざして

— 子どもがつながる授業を通して —

国語 第6学年  
珠洲市立正院小学校

## 1 研究の概要

「つながる授業」を研究の柱にし、「基礎的・基本的な知識・技能の定着」と『活用力』の育成・向上に向けた指導の充実を進めてきた。この「つながる授業」とは、「課題とつながる」活動を通して学習意欲を高め、解決の方策の意見を交流し合う段階で「子ども同士がつながり」、思考力・判断力・表現力を高めていくことをねらっている。そして学びを発信できるように「他へつながる」活動を仕組んできた。

また、マインドマップを使ったノートづくりや、辞書の常時活用も取り入れ、言語活動を重視した学習活動を行った。

### A-1 研究構想図

## 2 実践内容

### (1) 活用する力を育てる学習活動の工夫

#### ① 子どもがつながる授業

活用力を育てるためには、「子どもがつながる授業」が必要であると考えた。そこで、活用力をつける学習過程を設定し、各段階で身につけさせたいつながる力を明確にした学習活動を行ってきた。「子どもがつながる授業」とは、次のような授業ととらえている。

- ・課題を教師と子どもが共有している
- ・学習意欲がある
- ・子ども同士の話し合いがある
- ・教え合いがある
- ・学んだことを伝えている

### (2) 言語活動の充実

#### ① 言語力を高める辞書活用

国語辞典を常時机の上に置き、引かせている。その際、付箋を用いてその取り組みが目に見えるようにし、辞書を引くこと自体を楽しむようにした。

#### ② マインドマップを取り入れたノート

作文や思考の整理、発想が必要な場面に出会った時、マインドマップを使うようにしている。「覚える力」「考える力」「整理する力」「長文や小論文が書ける力」を目指している。

### (3) ピアサポートを取り入れた基礎・基本の定着

「ピアサポート」を学習の場面に取り入れ、朝自習において高学年が低学年の学習を指導したり、低学年が高学年に発表活動を披露したり、お互いに支援し合う関係を築いている。

### (4) 基礎学力の充実

朝自習タイム（10分）で、漢字・計算・読書・音読を取り入れている。また、家庭学習の内容や時間についても見直し、曜日によって百字の短作文、短文づくりも取り入れた。

### B-1 学習過程

### B-2 辞書活用

### B-3 マインドマップ

### 3 指導の実際

#### (1) 指導のねらい

- ・相手の意見を聞き、自分の考えと比べながら発言できる。

#### (2) つながる学習過程を明確にする

- ① 共有 … 討論会シートにより、前時の討論会をふり返り、改善点を探る。
- ② 表出 … 原稿を修正する（各自考える）
- ③ つないで活かす … 司会・計時の係を決め、討論会のルールを確認し話し合う。
- ④ まとめる … 「理由は…」を使って話す。資料・情報を活用して具体例を示す。  
的確に質問・答弁をする。

C-1 指導案

C-2 授業記録

### 4 成果と課題

#### (1) 成果

##### ① 子どもがつながる

「課題とつながる」段階

- ・具体的な言葉に課題を変え、児童の意欲や学習活動を活発化させる実践が行なわれるようになってきた。大部分の児童が、自分の考えを相手に伝わるように言葉や図等で表現し、課題とつながるようになってきた。

「子ども同士つながる」段階

- ・ペア・グループ学習を取り入れたり、立ち位置を変えながら話し合いがつながるように工夫した。その結果、2/3の児童が話し合いに入っていけるようになってきた。また、相違点・共通点を考えながら話したり聞いたりするようになってきた。

「他へつながる」段階

- ・活用場面を考えた単元計画や、既習事項を活かした授業展開が行われ、主張したり、提案したりする発信活動が見られた。又、意見+理由を大部分の児童が言えるようになり、図を使っての説明活動も活発になった。

##### ② 辞書活用

- ・楽しんで辞書を引く児童が増え、数多くの言葉に出会った。考え・答えを導く力が鍛えられ、漢字の定着に良い結果が出ている。

##### ③ マインドマップ

- ・作文を書いたり、読み取ったことを整理したり、スピーチの要点をまとめたりする場面にマインドマップを使う児童が増えた。文章を書く力や話す力の向上に役立った。

#### (2) 課題

活用力をつける学習展開を中心に研究を重ねてきたが、学年の系統性や、学年の到達度が明確にされていなかったことが反省点にあげられる。学年の基礎・基本を明確にした指導を行う必要性を感じた。

また、「活用力が高まる授業」を、日々の授業に確実に活かせるようにしていくことが、次年度の重要課題である。学習過程をより一層使いやすいうように、工夫・改善していきたい。

- 5 その他 参考文献 「7歳から辞書を引いて頭をきたえる」 深谷 圭助 著  
「ザ・マインドマップ」 トニー・ブザン 著  
「かかわりの中」で学級が変わる 寺岸 和光 著